

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2002-252871(P2002-252871A)
 【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)
 【出願番号】特願2001-48192(P2001-48192)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

H 0 4 M 1/725 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 D

H 0 4 M 1/725

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】無線通信装置、無線通信装置の制御方法、及び当該制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 無線通信装置であって、無線通信を行う通信相手を登録するための登録モードへ動作モードを切替える切替手段と、

前記登録モードで動作している他の無線通信装置を検索する検索手段と、

前記検索手段による検索の結果、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在しないと判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替え、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在すると判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替えないよう制御する制御手段と、
を有することを特徴とする無線通信装置。

【請求項2】 前記検索手段は、前記登録モードで動作していることを示す報知信号を検索することを特徴とする請求項1記載の無線通信装置。

【請求項3】 前記切替手段により前記登録モードへ切替えた後、前記登録モードで動作していることを示す報知信号の送信を開始することを特徴とする請求項1又は2に記載の無線通信装置。

【請求項4】 前記無線通信装置は親機として動作する装置であり、

前記検索手段は、前記登録モードで動作している他の親機を検索することを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の無線通信装置。

【請求項5】 前記検索手段により検索を行う場合は、他の親機からの報知信号を受信可能な子機モードに切替えて動作することを特徴とする請求項4記載の無線通信装置。

【請求項6】 無線通信を行う通信相手を登録するための登録モードへ動作モードを切替えることが可能な無線通信装置の制御方法であって、

前記登録モードで動作している他の無線通信装置を検索する検索工程と、

前記検索工程における検索の結果、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在しないと判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替え、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在すると判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替えないよう制御する制御工程と、
を有することを特徴とする無線通信装置の制御方法。

【請求項7】 請求項6記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータ読み取り可能なプログラム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、無線通信装置、無線通信装置の制御方法、及び当該制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、無線通信を行う通信相手を登録するための登録モードで動作している他の無線通信装置の存在も鑑みて、前記登録モードへの動作モードの切替えを制御することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明は、無線通信装置であって、無線通信を行う通信相手を登録するための登録モードへ動作モードを切替える切替手段と、前記登録モードで動作している他の無線通信装置を検索する検索手段と、前記検索手段による検索の結果、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在しないと判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替え、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在すると判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替えないよう制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するため、本発明は、無線通信を行う通信相手を登録するための登録モードへ動作モードを切替えることが可能な無線通信装置の制御方法であって、前記登録モードで動作している他の無線通信装置を検索する検索工程と、前記検索工程における検索の結果、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在しないと判定した場合に

は、前記動作モードを前記登録モードへ切替え、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在すると判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替えないよう制御する制御工程と、を有することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 6】

以上説明したように、本実施形態のデータ無線通信システムによれば、子機は、親機への子機登録の際、子機で入力したデータが登録報知信号の対象エリアに合致するデータか否かを判断し、親機は、親機への子機登録の際、一時的に、他の親機の登録報知信号を受信可能な子機モードで動作を行い、他の親機の登録報知信号が受信できない場合に自機の登録報知信号を送出し、子機で入力したデータが登録報知信号の対象エリアに合致するデータの場合、親機及び子機で所定の登録動作を行うため、下記の効果が得られる。

【手続補正 3 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 8】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、無線通信を行う通信相手を登録するための登録モードで動作している他の無線通信装置を検索し、その検索の結果、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在しないと判定した場合には、前記動作モードを前記登

録モードへ切替え、前記登録モードで動作している他の無線通信装置が存在すると判定した場合には、前記動作モードを前記登録モードへ切替えないように制御することができる。

【手続補正34】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【符号の説明】

- 101、102 通信制御装置
- 103、106 集中管理装置
- 104 公衆網
- 105 ホストコンピュータ
- 111～113 ISDN回線
- 201 親機側メモリ
- 202 親機側制御部
- 203 表示器付キーボード
- 204 親機側無線送受信部
- 301 子機側メモリ
- 302 子機側制御部
- 303 判断部
- 304 表示器付キーボード